



株式会社 未来 BOOK

埼玉県幸手市南 3-12-18 コーポビノマル 1 階
URL : <https://www.miraibook.com/>

代表
松本 秀樹

■本や書籍をスキャンして電子化する自炊代行サービスを中心に事業展開を進めている『未来 BOOK』。松本代表は、事業を通して、どんな方でも共に働けるシステム作りに尽力しているという。本日は、そんな代表のもとをタレントの新山千春さんが訪問し、お話を伺った。

—御社のメイン事業は、自炊代行サービスなのですね。こちらはどのような事業なのでしょう。

本や書籍を、スキャナーを利用してPDFやJPEGなどの形式にデータ化し、スマートフォンなどで読めるようにする

のが私たちのメイン事業です。大量の本を電子化することで、スマートフォンなどで持ち歩いて、いつでも読むことができますし、部屋のスペースを空けることもできます。

—電子書籍のように持ち歩けるのです

ね！ 松本代表は、昔からこの事業に携わっておられて？

実は、起業するまではまったく違う仕事に就いていました。少し、私の経歴をお話しさせていただきますと、学生時代は柔道に打ち込み、大学も柔道で進学する予定だったのです。しかし、試験の一週間前に脱臼してしまい、受験を断念。浪人して、勉強して大学に行くことにしたのです。ただ、それまで勉強なんてしてこなかったのが、周囲からは反対されました。それでも、一年間の浪人の末無事に合格しました。そして大学生時代にロジスティクスにハマったのです。もともと私はオタク気質な所があって(笑)、一度ハマるととことん突き詰める性分でした。そうして、学業修了後に大手物流会社に入社したのです。

—それは確かに、現在とはまた違ったお仕事ですね。そちらでは、どのようなお仕事をされていたのですか。

はい、入社後に配属されたのは、発電機やタービンなどの大きなものを輸送する輸送部門でした。そこでCADや設計図の描き方を学んだのです。ただ、ここでもオタク気質を発揮して(笑)、どんどんハマっていったのです。忙しくしていましたが、仲間にも恵まれて、やり甲斐を持って取り組んでいました。すごく自由奔放な社員だったと思います(笑)。しかし、ある時妻が双極性障害を患ってしまったのです。

—ええ！ それは大変です。

年齢や経歴などに関係なく 皆がのびのびと働けるシステムを作りたい



目が離せる状態ではなく、休職することも多々ありました。会社は、そんな私の状況を汲んでくれて、色々と助けて下さいました。でも、このまま仕事を続けるのは難しいと判断して、退職することにしたのです。そして新しい仕事を探そうと思った時に、ふと「起業しよう」と思い至って。色々情報を集める中で現在の事業のを知り、これならば、システムの構築次第で何とかなるんじゃないかと思いスタートしました。

—独立はすごく勇気がいることですよ。よく踏み切れましたね。

周囲からは、妻の病気や、二人の子供もがまだ小さかったこともあり反対されました。でも、大学受験の時もそうでしたが、できないとは思わなかったのです。とはいえ、スタートから6年ほどは苦しい状況が続きました。ここ3~4年で落ち着いてきた、という感じですね。もう無我夢中でした。

—苦労を重ねられて、現在に至るのですね。

私個人としては、あまり苦労したとかつらいという感情はないのです。昔から、何か失敗やトラブルがあっても、ただでは起きない性分でした(笑)。転んだら、何かを掴んで立ち上がらないと損した気持ちになるのです。次はこうしてみよう、を繰り返しているうちに、年月が経っていたイメージですね。今も、色々な目標があって、その達成に向けて進んでいる最中です。

—代表は本当にポジティブで真っ直ぐな方ですね。元気をもらえます。今目指しているのはどのような目標ですか。

色々ありますが、一つ言えるのは、妻が障がい者となったことがきっかけとなり起業したため、私が目指しているのは、どんな経歴や年齢の方でも、互いに交わりながら仕事ができるシステムを作ることです。その一つとして、障がい者の方々と連携していけるような会社のシステムを作っていきたいと考えています。本の電子化は、本の裁断やスキャンなどの他にも多数の作業が入ります。これらを細かく細分化して、適材適所で色々な方に担当してもらえるようにしていきたいです。目指すのは、健常者と障がい者の垣根がない形ですね。利益を追求するシステムの組み方と、障がい者の方でもできる仕事の組み方は違います。そこをどう近づけてバランスを取

ていくのが、今後の課題と言えるかもしれません。

—確かに難しいことかもしれませんが、これからはそういった形がどんどん求められていくと思います。

そうですね。現在は、地域の福祉関係者の方々と意見交換をしながら、システムづくりに取り組んでいます。実際に、就労支援事業所さんと提携して、輸送や倉庫作業、デジタル関連業務などをお願いしています。特にデジタル関連業務は、お好きな方にとっては本当に楽しいようで、長く続けて下さっている方ばかりです。こうした活動を通して、誰もができる仕事のシステムを構築していきたいです。そして、利益ではない、人として大切なものを生み出していきたいですね。

(2021年7月取材)

column

風通しの良い自由な社風

▼対談に同席して下さったスタッフの方に、松本代表のお人柄について伺うと、「どんな方の前でもこのままで、おらかな方。社内でもムードメーカーとして引っ張ってくれています」と教えて下さった。そんな代表に社内の雰囲気について伺うと、「皆自由です(笑)。もちろん、締めなければいけない所はちゃんと締めますが、基本的に縛りなどはありません。スタッフ同士の距離も近く、風通しは良いですね」とのことだ。入社するかどうか自由で、何かあれば気軽に休めるような環境を整えているという。「『入社してもらって良い?』と聞いて、断られることもあります(笑)」と代表。それだけ、互いに気心の知れた仲だということだろう。おおらかでポジティブな代表のお人柄が生み出す、のびのびとした雰囲気を感じられた。

after the interview

「松本代表はとても明るくてポジティブな方で、お話ししていて元気をもらえました！ 苦労を苦労と思わず、失敗を恐れず、真っ直ぐに進んでいくその姿勢は、私も見習いたいと思いましたね。これからもそんな代表のままで、真っ直ぐ進み続けて下さいね！」



新山 千春
(タレント)